

高等学校 地理歴史科（地理A）学習指導案

授業担当者 兵庫教育大学  
准教授 南 埜 猛  
兵庫県立加古川北高等学校  
教諭 畔 田 豊 年  
教諭 水 野 淳

- 1 実施日時 2011年11月28日（月）第3校時 第4校時
- 2 実施場所 視聴覚教室
- 3 対象生徒 2年次「理系地理A」履修生徒 2年次7組・8組 83名（男62名 女21名）
- 4 使用教材 教科書『新地理A 暮らしと環境』（教育出版）  
地図帳『基本地図帳 改訂版』（二宮書店）  
資料集『新編地理資料2011』（とうほう）  
資料集『データブック オブ・ザ・ワールド2011年版』（二宮書店）
- 5 単元名 自然環境と人々の生活・文化
- 6 単元のねらい  
人類と自然現象のかかわり、環境に適応した人間の諸活動について学習する。
- 7 単元の指導計画
  - (1) 自然環境と人間（1時間）
  - (2) 地形と人々の生活（6時間）
  - (3) 気候と人々の生活（6時間）
  - (4) 水の利用とわたしたちの暮らし（2時間）本時
  - (5) 地球上の水とその利用（1時間）

8 本時の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
地形、気候、水環境を人間にとっての環境として捉え、地域を特色づける要素として考察しようとしている。	地形、気候、水環境によって形成される、地域的特色を考察している。	調べたことをレポートにまとめ、効果的に地図に表現することができる。	地形、気候、水環境が形成される仕組みや相互に関係する仕組みを理解し、その知識を身につけている。

9 本時の展開

(1) 本時の目標

- ・夏休みの課題で調べたことが、相互に関係していることを理解する。
- ・印南野地域の地形、気候、水環境が形成される仕組みや相互に関係する仕組みを理解する。
- ・効果的な写真の撮り方や地図化の方法を身につける。

(2) 本時の展開

過程	学習内容	生徒の学習活動	指導上の留意点	評価観点
導入 (5分)	夏課題の確認	・提出した夏課題を思い起こす。	・発表の対象となった課題は、取り扱ったテーマによって選ばれたことを理解させる。	
展開① (45分)	夏課題の発表	・「ため池」「用水路」「別府川」「加古川」をテーマに17名の生徒が発表する。(2～3分) ・発表を聞く生徒は、重要ポイントや気が付いたこと、感想などをメモに取る。	・発表内容が相互に関係していることに気付かせる。  ・どのような写真や地図が見やすく、効果的であるかを考えさせる。	<b>【関心・意欲・態度】</b> 発表を聞きながら、印南野地域の特色を考察しようとしている。 <b>【技能・表現】</b> 効果的な写真の撮り方や地図化の方法を身につけようとしている。
展開② (45分)	印南野地域の地形、気候、水環境の形成	・提示された地図、雨温図、統計資料から、「ため池」「用水路」「加古川」が相互に関係していることを考え、メモに取る。	・主題図、雨温図などを提示し、「ため池」「用水路」「加古川」の関連性を気付かせる。	<b>【思考・判断】</b> 印南野地域の地形、気候、水環境が相互に関係する仕組みを考察しようとしている。
まとめ (5分)	印南野地域の特色	・メモに取った内容を関連付ける。	・日頃、何気なく見ている「ため池」「用水路」「加古川」が、相互に関係し、印南野地域の水環境システムを築いていることを理解させる。	<b>【知識・理解】</b> 印南野地域の地形、気候、水環境の形成される仕組みや相互に関係する仕組みを理解しようとしている。